

## 2007/05/08-17:13 李登輝氏に「後藤新平賞」= 本人が授賞式出席へ

明治・大正時代の政治家、後藤新平の生誕150周年を記念して創設された「後藤新平賞」の第1回受賞者に8日、台湾の李登輝前総統(84)が選ばれた。評論家の粕谷一希氏や出版社社長の藤原良雄氏らでつくる「後藤新平の会」が発表した。李前総統は来月1日、東京都内での授賞式に出席し、講演を行う予定。

同賞は、故後藤新平元内相が100年先を見通した政策により、人を育てながら地域や国家の発展に寄与したとして、同じような業績を残した国内外の人物を対象に授与。毎年1回表彰する。

李氏は台北市長や総統などを歴任。「後藤の仕事と精神を継承し、台湾近代化の発展に貢献、台湾島民を代表する存在」として受賞が決まった。後藤氏は台湾総督府の民政長官時代に、上下水道などのインフラ整備を進めた。

2007年5月8日付 時事通信(時事ドットコム)

[http://www.jiji.com/jc/c?g=soc\\_30&k=2007050800759](http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2007050800759)